B6FH-1841-01

FMV
DESKPOWER

Tシリーズ

インスタントテレビ機能
取扱説明書



FUJITSU

はじめに

このたびは、FMV-DESKPOWER T シリーズ（以降、本製品）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。このマニュアルは、本製品をテレビとして使用することができる、「インスタントテレビ機能」の操作について説明したものです。このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2004 年 4 月

重 要

- 本書は、本製品のインスタントテレビ機能についてのみ説明したものです。パソコンとしてお使いになるための説明や諸注意については、『パソコンの準備』および（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」をご覧ください。
- インスタントテレビ機能でご使用になる場合、CD や DVD の視聴はできません。CD や DVD をお楽しみになりたい場合は（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「CD・DVD」をご覧ください。

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。また、添付の『パソコンの準備』の「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルおよび『パソコンの準備』は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いのモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

重 要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	知っていると便利なことを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 ・キーボードの「サポート」ボタンを押す ・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル＆サポート）」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリック

製品の呼びかたについて

このマニュアルでは製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional	Windows XP
富士通サービスアシスタント　V2.4	サービスアシスタント

商標について

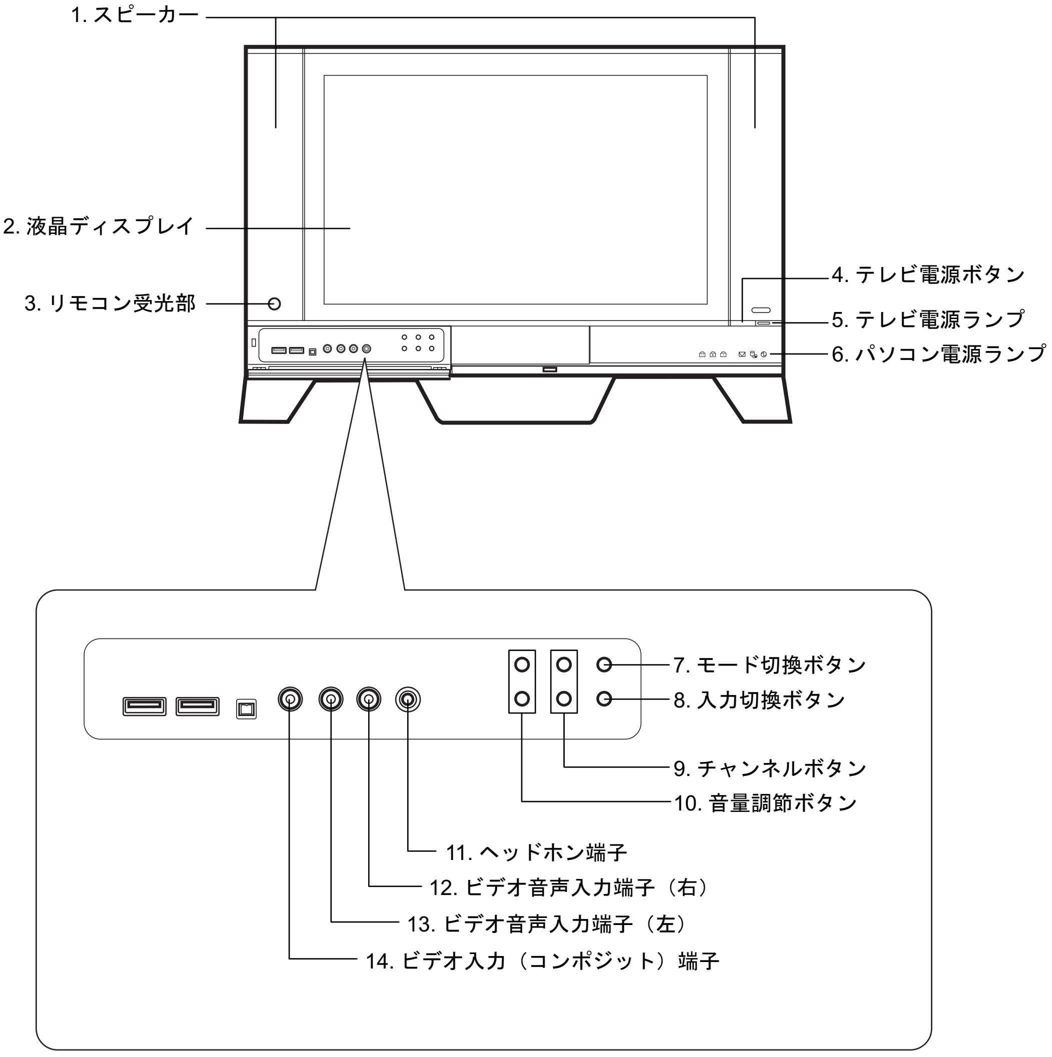
Microsoft および Windows、MS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

目次

Memo

1 各部の名称と機能

前面



1 スピーカー

テレビやビデオなどの音声を出力します。

ヘッドホン端子にヘッドホンを接続している間は、スピーカーから音がでません。スピーカーから音を出力する場合は、ヘッドホンを抜いてください。

2 液晶ディスプレイ

テレビやビデオなどの映像を表示します。

3 リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。

4 テレビ電源ボタン

インスタントテレビの電源を入れるときと切るときに押します。

5 テレビ電源ランプ

インスタントテレビの電源が入っているとき、青色に点灯します。

6 パソコン電源ランプ

パソコンの電源が入っているとき、緑色に点灯します。

7 モード切換ボタン

パソコンモードとテレビモードを切り換えます。
パソコンモード：パソコンの画面と音声を出力します。
テレビモード　：テレビやビデオなどの映像と音声を出力します。

8 入力切換ボタン

映像信号入力を、テレビ→ S ビデオ→ビデオ→コンポーネントの順に切り換えます。

9 チャンネル切換ボタン

テレビのチャンネルを変更します。上側のボタンを押すと数字の大きい方に、下側のボタンを押すと数字の小さい方に切り換えます。

10 音量調節ボタン

スピーカーまたはヘッドホンの音量を調節します。上側のボタンを押すと大きく、下側のボタンを押すと小さくなります。

11 ヘッドホン端子

市販のヘッドホンを接続します。
ヘッドホンを接続している間は、スピーカーから音が出ません。スピーカーから音を出力する場合は、ヘッドホンを抜いてください。

⚠注意

聴力障害

- ヘッドホンをお使いになるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
  耳を刺激するような大きな音量で長時間お使いになると、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

聴力障害

- ヘッドホンをしたままパソコンまたはテレビの電源を入れたり切ったりしないでください。
  刺激音により聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

12 ビデオ音声入力端子（右）

ビデオ入力（コンポジット）端子に接続した映像機器からの音声（右）入力端子です。

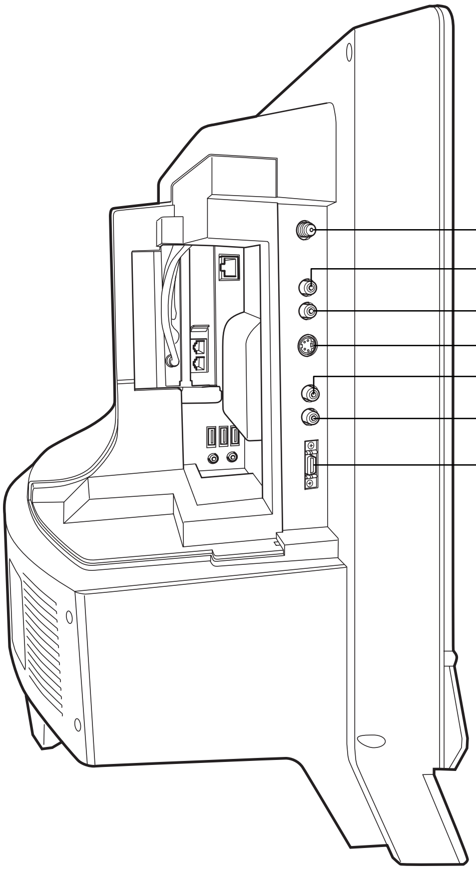
13 ビデオ音声入力端子（左）

ビデオ入力（コンポジット）端子に接続した映像機器からの音声（左）入力端子です。

14 ビデオ入力（コンポジット）端子

ビデオなどの映像機器を接続します。

左側面



1 アンテナ入力（F 型同軸）端子

テレビアンテナを接続します。

2 ビデオ音声入力端子（右）

ビデオ入力（S ビデオ）端子に接続した映像機器からの音声（右）入力端子です。

3 ビデオ音声入力端子（左）

ビデオ入力（S ビデオ）端子に接続した映像機器からの音声（左）入力端子です。

4 ビデオ入力（S ビデオ）端子

ビデオなどの映像機器を接続します。

5 ビデオ音声入力端子（右）

コンポーネント入力（D4 映像）端子に接続した映像機器からの音声（右）入力端子です。

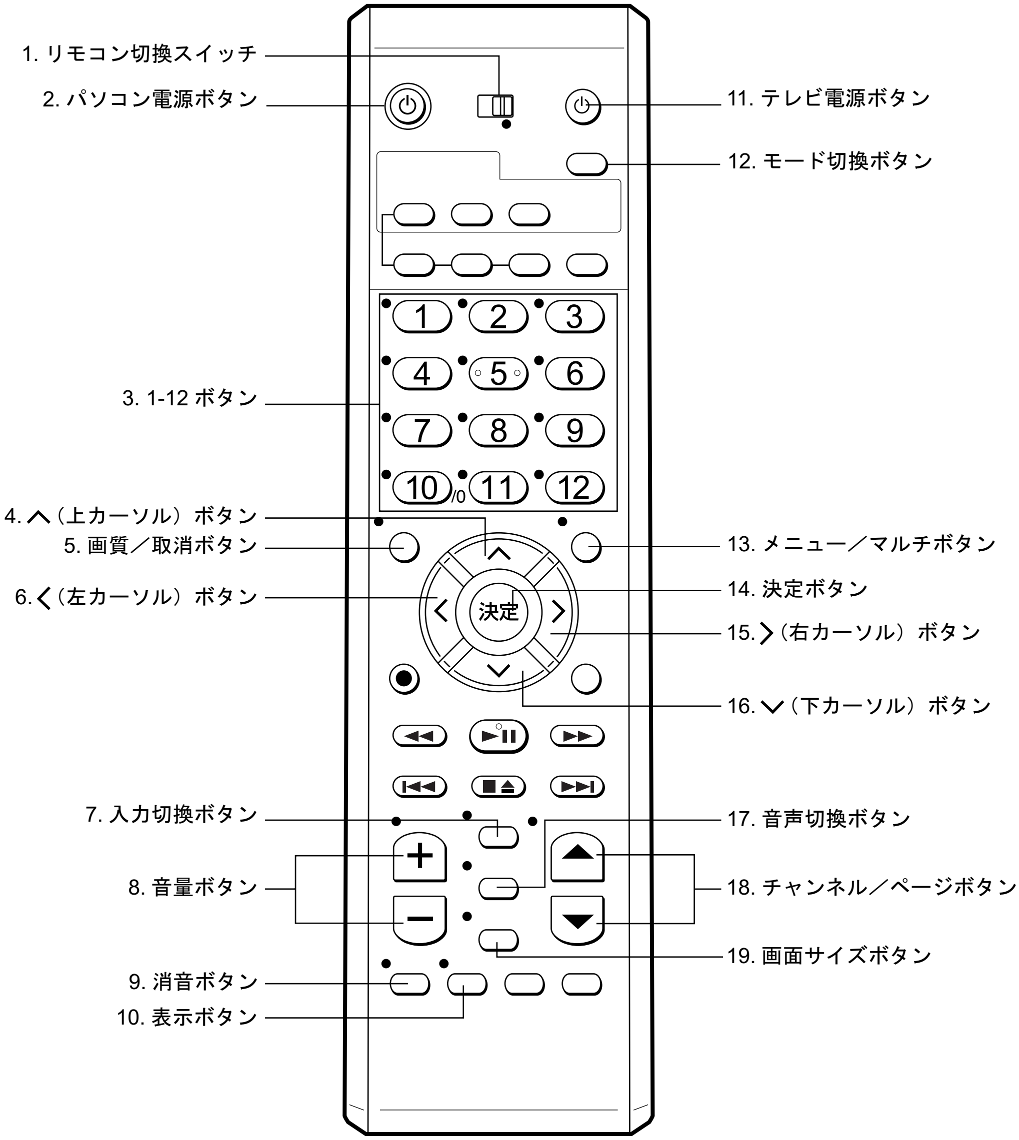
6 ビデオ音声入力端子（左）

コンポーネント入力（D4 映像）端子に接続した映像機器からの音声（左）入力端子です。

7 コンポーネント入力（D4 映像）端子

BS/CS チューナーなどの映像機器を接続します。

リモコン



POINT

ここではリモコン切換スイッチ（後述）を「テレビ」にした時に操作できるボタンについてのみ説明します。リモコンの切換スイッチを「パソコン」にした時の動作、および乾電池の入れ方、リモコン使用時の注意点については、『パソコンの準備』または（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」をご覧ください。

1 リモコン切換スイッチ

スイッチを「パソコン」側または「テレビ」側にすることで、リモコンの機能を切り換えることができます。

インスタントテレビを操作する場合は、リモコン切換スイッチを「テレビ」側に合わせてください。

●印のボタンを使うことができます。

2　パソコン電源ボタン

パソコン本体の電源を入れるときと切るときに押します

3　1-12 ボタン

1 ～ 12 のテレビチャンネルを選択します。

4　︿（上カーソル）ボタン

メニュー画面が表示されているときに、カーソルを上へ移動したり、設定を変更したりします。
また、ワイド設定でズームを選択しているときに、映像を一段階上にずらして表示します。

5　画質／取消ボタン

メニュー画面が表示されていないときは、画質モードを、標準→シネマ→ビデオ→カスタムの順に切り換えます。
メニュー画面が表示されているときは、メニュー画面の表示を取り消します。

6　＜（左カーソル）ボタン

メニュー画面が表示されているときに、カーソルを左へ移動したり、設定を変更したりします。

7　入力切換ボタン

映像信号入力を、テレビ→ S ビデオ→ビデオ→コンポーネントの順に切り換えます。

8　音量ボタン

スピーカーまたはヘッドホンの音を、（＋）ボタンで大きく（－）ボタンで小さくします。

9　消音ボタン

スピーカーから出力される音を一時的に消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

10　表示ボタン

映像信号の情報を表示します。

11　テレビ電源ボタン

インスタントテレビの電源を入れるときと切るときに押します。

12　モード切換ボタン

パソコンモードとテレビモードを切り換えます。
パソコンモード：パソコンの画面と音声を出力します。
テレビモード　：テレビやビデオなどの映像と音声を出力します。

13　メニュー／マルチボタン

メニュー画面を表示します。

14　決定ボタン

メニュー画面でタブを選択したり、設定値を決定したりします。

15　＞（右カーソル）ボタン

メニュー画面が表示されているときに、カーソルを右へ移動したり、設定を変更したりします。

16　﹀（下カーソル）ボタン

メニュー画面が表示されているときに、カーソルを下へ移動したり、設定を変更したりします。
また、ワイド設定でズームを選択し、映像を上にずらして表示しているときに、元の表示位置に戻します。

17　音声切換ボタン

音声多重放送の場合、主音声→副音声→主／副音声の順に切り換えます。

18　チャンネル／ページボタン

テレビのチャンネルを、▲ボタンを押すと数字の大きい方に、▼ボタンを押すと数字の小さい方に切り換えます。

19 画面サイズボタン

テレビの画面を、ノーマル→ワイド→ズーム→ 16:9 の順に切り換えます。

ただし、コンポーネント入力端子に D3（1125i）または D4（750p）の信号を入力している場合、画面サイズを切り換えることはできません。

2 接続

POINT

アンテナケーブルの接続については、『パソコンの準備』→「接続する」→「アンテナケーブルを接続する」も合わせてご覧ください。

重 要

すべての接続が終了するまで、本製品の電源を入れないでください。

アンテナと接続する

⚠警告

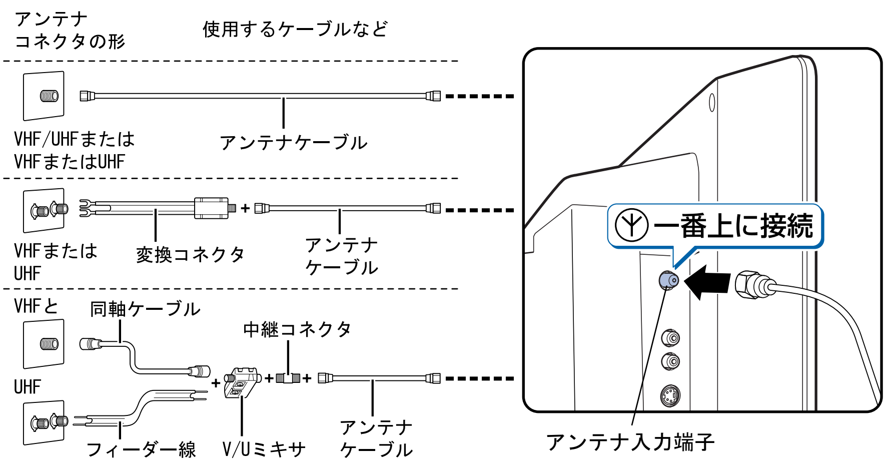
・近くで落雷のおそれがある場合は、すべての作業を中止してください。落雷による感電のおそれがあります。

POINT

アンテナケーブル、変換コネクタ、V/U ミキサ、中継コネクタなどは添付していません。テレビと接続しているアンテナケーブルを外して接続するか、市販のものをご購入ください。ご購入される場合、ケーブルは適切な長さのものを選択してください。
アンテナ設置については、最寄りの電気店にお問い合せください。

1 アンテナケーブルを本製品に接続する。

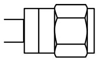
接続のしかたは、壁のアンテナコネクタの形や、お使いになるケーブルによって異なります。下の図から最も近いものを選択し、必要なケーブル類をご購入の上、接続してください。
すでにアンテナケーブルが、お客様がお使いのテレビに接続されている場合は、テレビからアンテナケーブルを取り外し、本製品のアンテナ入力端子に接続してください。



重 要

ネジ式の F 型プラグをお使いください

アンテナケーブルと本製品の接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式の F 型コネクタプラグのご使用をお勧めします。F 型コネクタプラグの取り付け方については、F 型コネクタのマニュアルをご覧になるか、電気店にお問い合わせください。



F 型プラグ

本製品にアンテナケーブルを接続する際は、コネクタの中心にある金属芯を折らないよう、注意して扱ってください。

F 型コネクタプラグ以外で接続する場合は、以下の点にご注意ください

・コネクタの形状（大きさ）によっては、パソコン本体に干渉して接続できない場合があります。
　また、S ビデオケーブルなどの他のケーブルを同時に接続できない場合があります。
・ネジ式の F 型コネクタプラグに比べノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

映像機器と接続する

1 必要なものを用意する

次のものを用意します。

■ **ビデオデッキやビデオカメラ、BS/CS チューナーなどの映像機器**

映像出力端子としてコンポジット端子、S 端子またはコンポーネント端子を持つものがお使いになれます。各社から発売されています。

■ **ビデオケーブル、S 端子ケーブルまたはコンポーネントケーブル**

映像機器の映像出力と、本製品の各映像入力端子を接続するケーブルです。映像機器の出力に合わせたものをお選びください。

■ **音声ケーブル**

映像機器の音声出力と、本製品の各ビデオ音声入力端子を接続します。ケーブルは「抵抗なし」のものをお使いください。

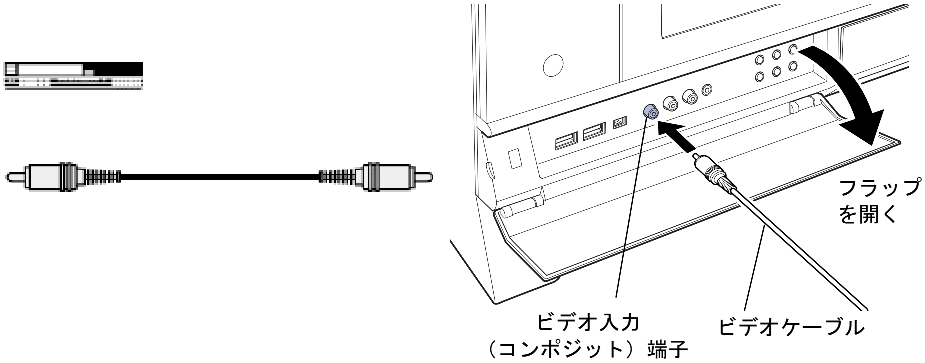
■ **映像機器のマニュアル**

映像機器によって接続方法が異なります。映像機器側の接続については、必ず映像機器のマニュアルをご覧ください。

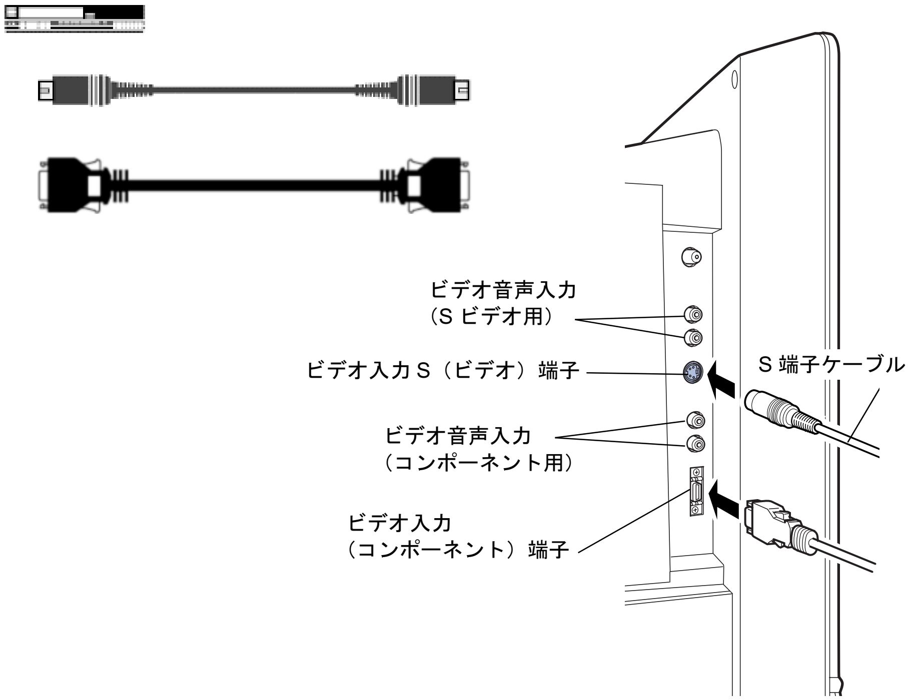
2 映像信号ケーブルを接続する

ビデオケーブル、S 端子ケーブルまたはコンポーネントケーブルの一端を本製品の対応する映像入力端子に、他方を映像機器の映像出力端子に接続します。

■ビデオケーブルを接続する場合

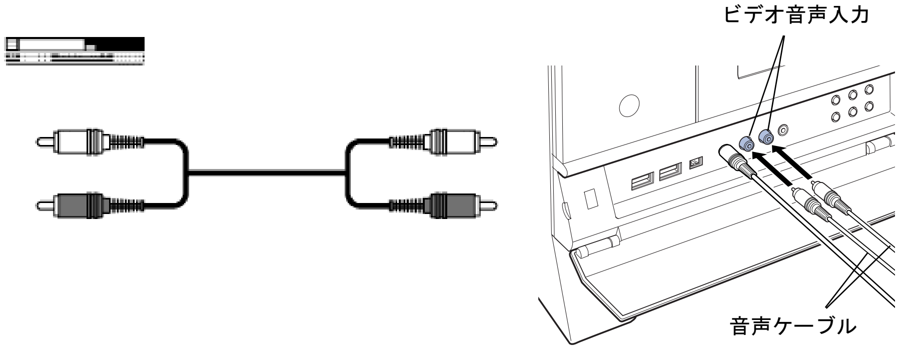


■S 端子ケーブル、またはコンポーネントケーブルを接続する場合



3 音声ケーブルを接続する

音声ケーブルの一端を本製品の、上記手順 2 で接続した映像信号ケーブルに対応する音声入力端子に、他方を映像機器の音声出力端子に、ピンプラグの色と端子の色を合わせて接続します。



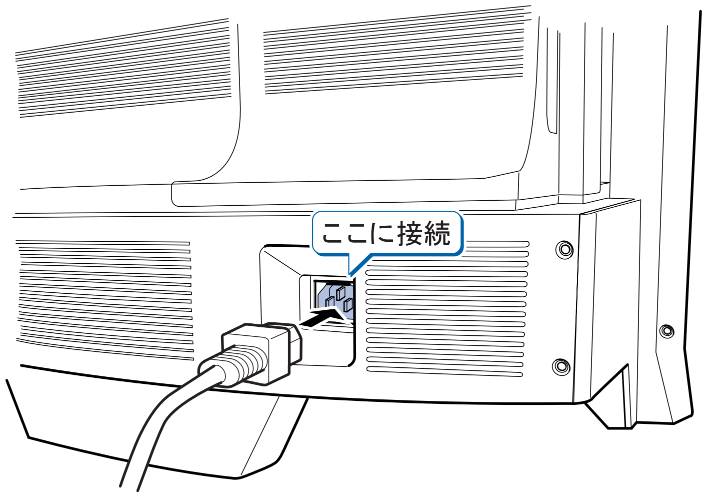
（コンポジット用音声入力端子に接続する場合）

POINT

ビデオ入力ではコンポジット入力用音声入力端子、S ビデオ入力では S 端子入力用音声入力端子、コンポーネント入力ではコンポーネント端子入力用音声入力端子に接続した音声信号がそれぞれ出力されます。

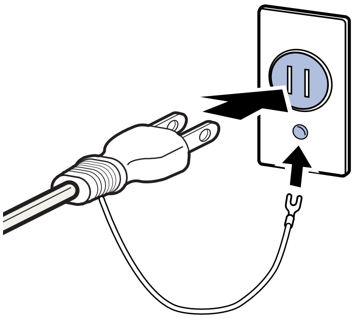
電源を接続する

1 電源ケーブルを、パソコン本体に接続します。



2 電源ケーブルを、コンセントに差し込みます。

アース線をコンセントのアースネジに差し込んで、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



重 要

アース線について

電源ケーブルには、安全のためアース線がついています。コンセントに電源プラグを差し込む前に、必ずアース線をアースネジに接続してください。
電源ケーブルを抜く時は、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

⚠ 注意

・本製品はコンセントの近くに設置し、異常が発生したときにすぐに対応できるようにしてください。
・万一、異常が発生した場合は、本製品の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

3 チャンネルの設定

チャンネルを検出する

放送電波を検出して、チャンネルの自動設定を行います。

POINT

- チャンネルの設定は、放送のある時間帯に行ってください。
- CATV の受信はサービス（放送）の行われている地域のみ可能です。CATV を受信するときは、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。さらに有料放送などスクランブルがかかった放送の視聴・録画には、ホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくは、サービスを行っている CATV 会社へご相談ください。
- インスタントテレビ機能単体では、BS/CS 放送は受信できません。BS/CS 放送をご覧になりたい場合は、別途 BS/CS チューナーを接続してください。（••▶ P.12）
- パソコン本体にインストールされている「TVfunSTUDIO™」のチャンネルを設定すると、そのうち 1 ～ 16 チャンネルの内容がインスタントテレビ機能の設定にも反映されます。「TVfunSTUDIO™」とは異なるチャンネル設定を行う場合には、「TVfunSTUDIO™」のチャンネル設定を実行した後に、改めてインスタントテレビ機能のチャンネル設定を行ってください。
  「TVfunSTUDIO™」のチャンネル設定については、『テレビを見る・録る・残すガイド』をご覧ください。

重要

- リモコンの操作はすべて、リモコン切換スイッチが「テレビ」になっている場合です。リモコン切換スイッチが「パソコン」になっている場合は、操作を行う前に「テレビ」に切り換えてください。

1 テレビ電源ボタンを押して、インスタントテレビの電源を入れます。

テレビ電源ランプが青色に点灯します。

2 入力切換ボタンを押して、テレビ入力に切り換えます。

テレビ入力が選択されると、画面右上に「テレビ」と表示されます。

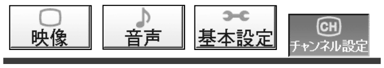
POINT

本製品をパソコンモードで使用しているときは、モード切換ボタンでもインスタントテレビに切り換えることができます。

3 メニュー／マルチボタンを押して、メニュー画面を表示します。

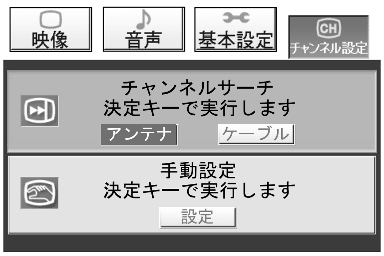


4 〈／〉ボタンで「チャンネル設定」を選択し、決定ボタンを押します。



5 ∧／∨ボタンで「チャンネルサーチ」を選択します。

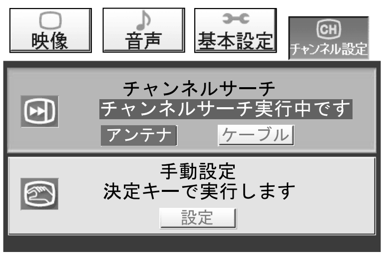
6 本製品を VHF/UHF アンテナと接続した場合には「アンテナ」を、CATV と接続した場合には「ケーブル」を〈／〉ボタンで選択します。



VHF/UHF の場合

7 決定ボタンを押します。

チャンネルサーチを開始します。

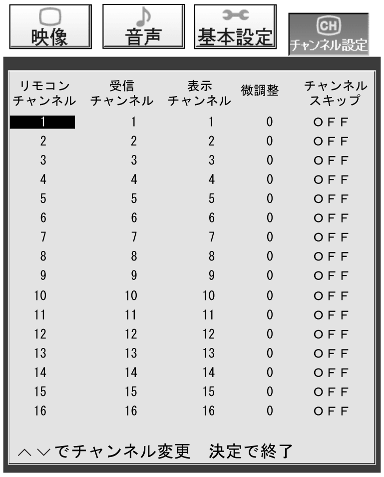


POINT

- 電波の受信状態が悪い場合､チャンネルサーチを行うごとに検出結果が異なることがあります。
- チャンネルサーチが終了するまで１、２分かかる場合があります。

8 チャンネルサーチが完了すると、自動的にチャンネル設定画面に移ります。

チャンネル設定を変更したい場合は、続けて次の「チャンネル設定を変更する」手順 3 以降を行ってください。



リモコンチャンネル	受信チャンネル	表示チャンネル	微調整	チャンネルスキップ
1	1	1	0	ＯＦＦ
2	2	2	0	ＯＦＦ
3	3	3	0	ＯＦＦ
4	4	4	0	ＯＦＦ
5	5	5	0	ＯＦＦ
6	6	6	0	ＯＦＦ
7	7	7	0	ＯＦＦ
8	8	8	0	ＯＦＦ
9	9	9	0	ＯＦＦ
10	10	10	0	ＯＦＦ
11	11	11	0	ＯＦＦ
12	12	12	0	ＯＦＦ
13	13	13	0	ＯＦＦ
14	14	14	0	ＯＦＦ
15	15	15	0	ＯＦＦ
16	16	16	0	ＯＦＦ

∧∨でチャンネル変更　決定で終了

POINT

チャンネルサーチは､放送電波を検出した順にチャンネル番号を割り当てていきます。このため､ご使用になる地域などの条件によっては､一部のチャンネルが割り当てから外れてしまうことがあります。その場合は次の「チャンネル設定を変更する」を行ってください。

9 決定ボタンを押します。

設定が保存され、メニュー画面に戻ります。

POINT

カーソルが「リモコンチャンネル」の欄に無い場合､決定ボタンを押すと「リモコンチャンネル」の列にカーソルが移動します。メニュー画面に戻すにはもう一度決定ボタンを押してください。

10 画質／取消ボタンを二回押します。

メニュー画面が消え、テレビを見ることができます。

チャンネル設定を変更する

チャンネル設定画面では、以下の項目について設定および調整ができます。

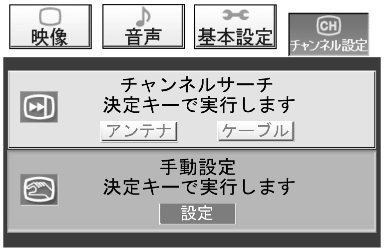
・リモコンの各番号ボタンに割り当てる受信チャンネルの設定
・画面右上に表示されるチャンネル番号の設定
・各チャンネルの微調整
・チャンネルボタン（▲／▼ボタン）でチャンネルを切り換えた場合に、不要なチャンネルをスキップする設定

POINT

・チャンネルは１～１６まで設定できますが、リモコンの番号ボタンで直接チャンネルを切り換えられるのは１～１２までです。１３～１６はチャンネルボタン（▲／▼ボタン）でチャンネルを切り換えてください。
・ご使用になる地域や CATV、マンションなどの共同受信システムによっては、微調整を行うことにより画質が良くなることがあります。

1 **メニュー画面で「チャンネル設定」を選択し、決定ボタンを押します。**

2 **∧／∨ボタンで「手動設定」を選択し、決定ボタンを押します。**



3 **∧／∨ボタンで割り当てを変更したいリモコンチャンネルを選択し、＞ボタンを押します。**



4 ∧／∨ボタンで割り当てたい受信チャンネルを選択し、>ボタンを押します。



POINT

チャンネルサーチから続けてチャンネル設定を行っている場合、選択できるのは検出できたチャンネルのみとなります。

5 ∧／∨ボタンで表示させる番号を設定し、>ボタンを押します。



6 ∧／∨ボタンで最適な画質になるように調整し、>ボタンを押します。



7 ∧／∨ボタンでスキップの設定をおこない、決定ボタンを押します。

「ON」に設定すると、チャンネルボタン（▲／▼ボタン）でチャンネルを切り換えたときに、そのチャンネルをスキップします。



8 続けて設定を行う場合、手順３－７を繰り返します。

9 全ての設定が終了したら、決定ボタンを押します。

設定が保存され、メニュー画面に戻ります。

POINT

カーソルが「リモコンチャンネル」の欄に無い場合、決定ボタンを押すと「リモコンチャンネル」の列にカーソルが移動します。メニュー画面に戻すにはもう一度決定ボタンを押してください。

10 画質／取消ボタンを二回押します。

メニュー画面が消え、テレビを見ることができます。

4 テレビを見る／外部機器の映像を見る

重 要

- リモコンの操作はすべて、リモコン切換スイッチが「テレビ」になっている場合です。もしリモコン切換スイッチが「パソコン」になっている場合は、操作を行う前に「テレビ」に切り換えてください。

インスタントテレビの電源を入れる

1 テレビ電源ボタンを押して、インスタントテレビの電源を入れます。

テレビ電源ランプが青色に点灯します。

POINT

本製品をパソコンモードで使用しているときは、モード切換ボタンでもインスタントテレビに切り換えることができます。

2 入力切換ボタンでご覧になりたい入力を選択します。

入力切換ボタンを押すたびに、「テレビ」→「S ビデオ」→「ビデオ」→「コンポーネント」の順に切り換わります。

テレビ放送をご覧になる場合は「テレビ」を、外部機器の映像をご覧になる場合は外部機器を接続した端子に対応する入力を選択します。

現在の入力は、画面右上に表示されます。

重 要

- ビデオの早送りやスローでの再生時は、画面がちらつくことがあります。
- 映像機器や映像媒体によっては、画面が乱れることがあります。

見たいチャンネルを選択する

テレビ入力を選択後、次の手順でご覧になりたいチャンネルを選択します。

リモコンの 1 − 12 ボタンを使う

見たいチャンネルの番号を押すと、そのチャンネルが表示されます。

POINT

- 13 ～ 16 チャンネルをご覧になりたいときは、リモコンまたはディスプレイ本体の ▲ ／ ▼ ボタンをご使用ください。
  1 − 12 ボタンを「1」＋「3」のように順に押しても、13 ～ 16 チャンネルを選択することはできません。

▼／▲ボタンを使う

リモコンまたは本体の▲ボタンを押すと次のチャンネルが、▼ボタンを押すと前のチャンネルが表示されます。このとき、チャンネル設定（••▶ P.16）でスキップを「する」に設定したチャンネルは飛ばされます。

音量を調節する

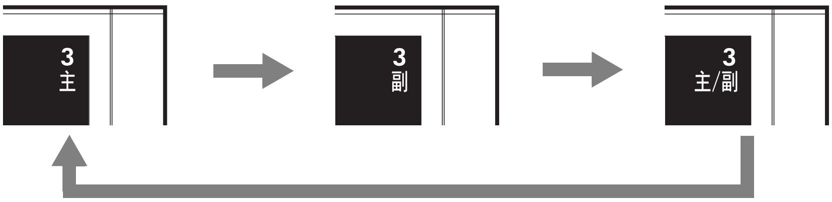
1 リモコンまたは本体の－／＋ボタンを押して、音量を調節します。

＋ボタンを押すと音量が大きくなり、－ボタンを押すと小さくなります。

音声を切り換える

テレビ入力で二カ国語放送などの音声多重放送を受信しているときに、音声モードを選択します。

1 リモコンの音声切換ボタンを押して、ご希望の音声モードを選択します。



POINT

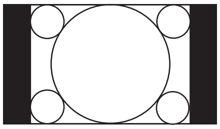
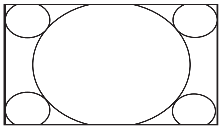
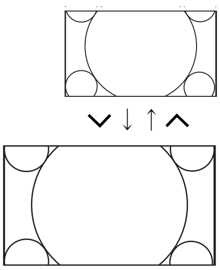
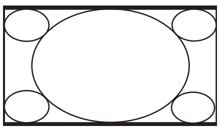
- 「主 / 副」を選択した場合、左スピーカーから主音声、右スピーカーから副音声が聞こえます。

画面サイズを変更する

お好みに応じて画面サイズを変更することができます。

1 リモコンの画面サイズボタンでお好みの画面サイズを選択します。

ボタンを押すたびにノーマル→ワイド→ズーム→ 16:9 の順で切り換わります。

画面サイズ	解説	適した使いかた
 ノーマル	映像を拡大せずに、縦横比 4 : 3 で表示します。	通常のテレビ放送を本来の縦横比で楽しむのに最適です。
 ワイド	映像を画面いっぱいに拡大して表示します。 このとき、映像の上下がわずかにカットされます。	通常のテレビ放送を画面いっぱいに表示して楽しむのに最適です。
 ズーム	映像の縦横比を保ったまま、画面の左右いっぱいに拡大して表示します。このとき、映像の上下はカットされます。字幕が切れてしまって読めないなどの場合には、∧ボタンを押すと映像を上にずらして表示させることができます。	レターボックス形式（注 1）の映像を拡大して楽しむのに最適です。
 16:9	映像を縦横比 16:9 に拡大して表示します。画面の上下に黒い帯が表示されます。	スクイーズ記録形式（注 2）の映像を正しい縦横比で楽しむのに最適です。

注 1： ワイド映像を、上下に黒帯を付加することで通常の比率（4 : 3）にして記録する方式

注 2： ワイド映像を、横方向に圧縮することで通常の比率（4 : 3）にして記録する方式

POINT

メニュー画面から画面サイズを切り換えることもできます。

→「細かい設定を行う」（P.26）

コンポーネント入力に D3（1125i）または D4（750p）の信号を入力して表示している場合、画面サイズは変更できません。

重要

本製品を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置く場合、ワイド設定機能を使って画面が拡大、圧縮、または一部カットされた状態で使用すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。

5 パソコンの画面を表示する

パソコンモードに切り換える

パソコン電源ランプが消灯している場合

1 パソコン電源ボタンを 1 秒以上押して、パソコンの電源を入れます。

パソコンの電源を入れると、自動的にパソコンモードへ切り換わります。

パソコン電源ランプが点灯している場合

1 モード切換ボタンを押して、パソコンモードに切り換えます。

POINT

パソコンモードでのご使用については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMVの使い方」をご覧ください。

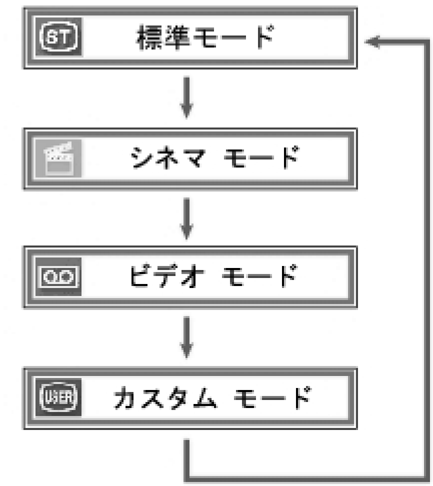
6 細かい設定を行う

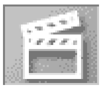
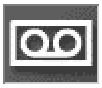
重 要

- リモコンの操作はすべて、リモコン切換スイッチが「テレビ」になっている場合です。もしリモコン切換スイッチが「パソコン」になっている場合は、操作を行う前に「テレビ」に切り換えてください。

画質モードを選ぶ

メニュー画面が表示されていないときにリモコンの画質／取消ボタンを押すと、映像の内容によってお好みの画質モードを選ぶことができます。
画質／取消ボタンを１回押すと、現在の画質モードが表示されます。続けて押すと、以下の順番で画質モードが切り換わります。



アイコン	モード名	説明
	標準モード	適度なコントラストで標準的な画質になります。
	シネマモード	暗い部分の微妙な違いを再現する、映画に適した画質になります。
	ビデオモード	コントラストの高い、非常にメリハリの強い画質になります。
	カスタムモード	色あい、色のこさなどを細かく調整できます。

メニュー画面の基本的な操作

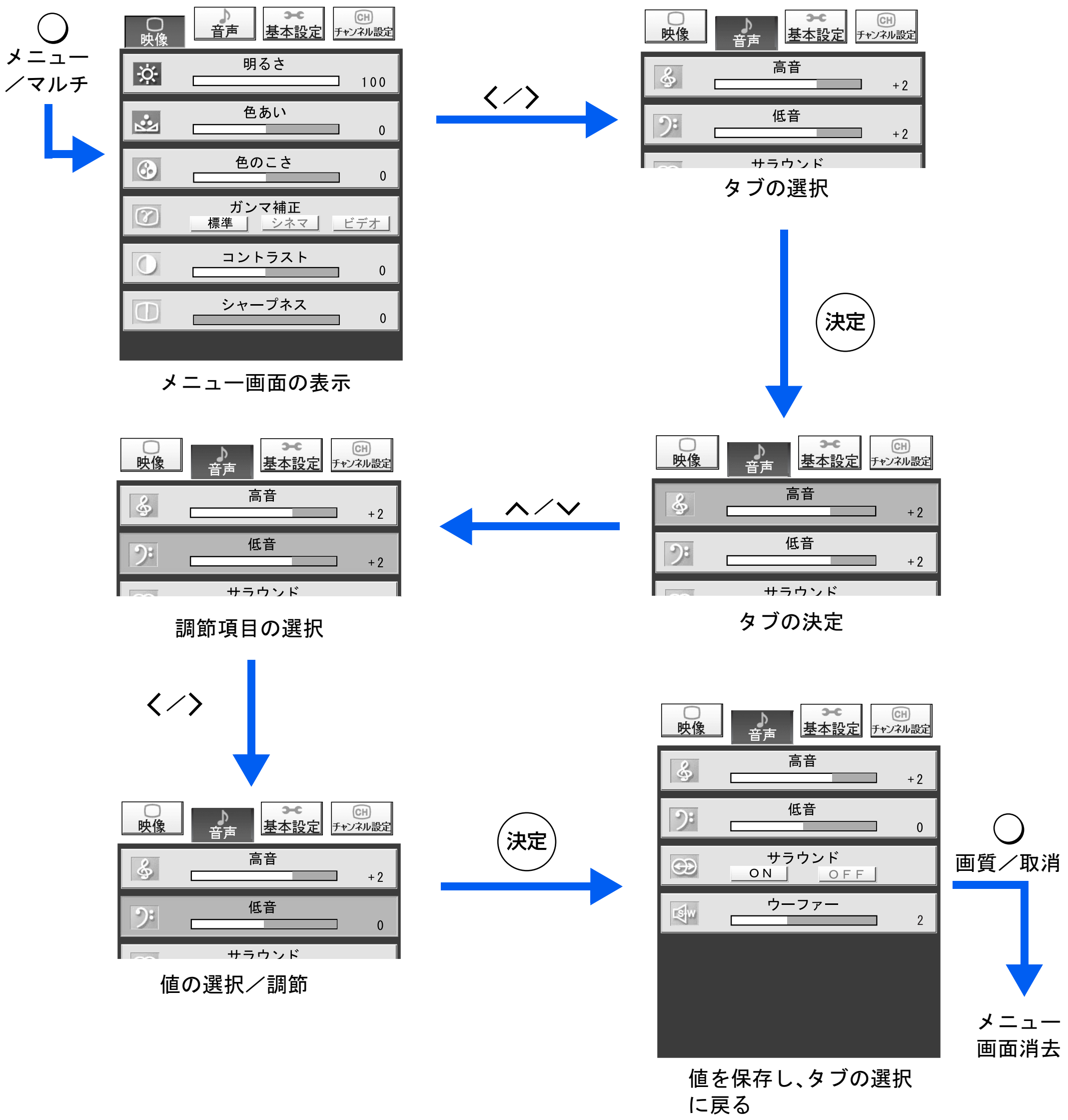
本製品はメニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。設定には、リモコンのメニュー／マルチボタン、決定ボタン、カーソルボタン（∧／＞／∨／＜）、画質／取消ボタンを使用します。

ボタンの基本機能

メニュー／マルチボタン	→	メニュー画面を表示
カーソルボタン（∧／＞／∨／＜）	→	選択／調節
決定ボタン	→	決定
画質／取消ボタン	→	メニュー画面を消去

操作手順

例）「音声」の「低音」を調節する場合



POINT

10 秒以上ボタン操作を行わなかった場合、調節値が自動的に保存されます。次に電源を入れたときには、保存された内容で画面が表示されます。

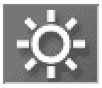
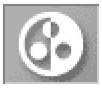
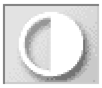
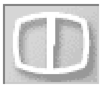
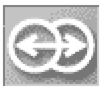
調節項目の内容

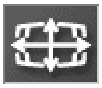
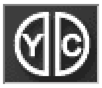
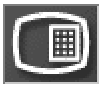
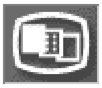
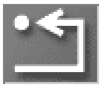
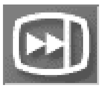
画面に表示する入力や画質モードによって、選択できる調節項目は異なります。

「各入力時の調節可能な項目」（••▶ P.34）

POINT

選択できない項目は、アイコンがグレーで表示されます。

タブ	アイコン	名称	機能
映像		明るさ	画面全体の明るさを設定します。
		色あい	画面の色あいを調節します。 ＋：赤みがかります。 －：緑がかります。
		色のこさ	画面の色のこさを調節します。
		ガンマ補正	画面の明暗部分のバランスを3種類から選択します。 **標準**：適度なコントラストで標準的な画質になります。 **シネマ**：暗い部分の微妙な違いを再現するのに適した画質になります。 **ビデオ**：コントラストが高く、メリハリの強い画質になります。
		コントラスト	画面の濃淡の強さ（コントラスト）を調節します。
		シャープネス	映像の輪郭の強調度を調節します。
音声		高音	音声の高音域の調節をします。 ＋：高音が強くなります。 －：高音が弱くなります。
		低音	音声の低音域の調節をします。 ＋：低音が強くなります。 －：低音が弱くなります。
		サラウンド	サラウンド機能のON/OFFを選択します。 ONを選択すると、臨場感のあるサウンドになります。ただし、音声信号がモノラルの場合にはサラウンド効果を得ることはできません。
		ウーファー（ヘッドホン未接続時）	ウーファーのレベルを調節します。
		バスブースト（ヘッドホン接続時）	バスブースト機能のON/OFFを選択します。 ONを選択すると、更に低音域を強調します。

タブ	アイコン	名称	機能
基本設定		ワイド設定	画面サイズを 4 種類から選択します。 **ノーマル**：映像を拡大せずに、縦横比 4:3 で表示します。 **ワイド**：映像を画面の左右いっぱいに拡大して表示します。このとき、映像の上下がわずかにカットされます。 **ズーム**：映像の縦横比を変えずに、画面の左右いっぱいに拡大して表示します（映像の上下がカットされます）。 カーソルボタン（∧／∨）で映像を上下にずらすことができます。 **16:9**：映像を縦横比 16:9 に拡大して、画面の左右いっぱいに表示します。画面の上下には、黒い帯が表示されます。
		3DY/C 設定	3 次元 Y/C 分離機能の ON/OFF を選択します。 ON にすると、画面のにじみ等を抑えた鮮明な映像になります。
		GRC 設定	ゴーストリダクション機能のON/OFFを選択します。 ON にすると、放送局から送信されるゴースト除去信号を感知して、ゴーストを少なくします。
		OSD 位置	メニュー画面の表示位置の左右を切り換えます。
		OSD 透過度	メニュー画面の背景色の透明度を調節します。
		リセット	チャンネル設定を除く全ての項目をご購入時の設定に戻します。
チャンネル設定		チャンネルサーチ	放送電波を検出し、チャンネルを設定します。
		手動設定	以下の 4 項目の設定および調整を行います。 ・チャンネルの割り当て ・チャンネル選択時の表示 ・受信状態の微調節 ・チャンネルボタン（▲／▼ボタン）操作時のスキップ設定

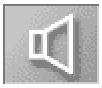
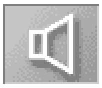
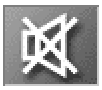
重要

- ゴーストリダクション機能を ON にした状態でチャンネルを切り換えた場合、新たなチャンネルでゴーストリダクション機能の効果が現れるまでしばらくかかることがあります。
- 下記のような場合、ゴーストリダクション機能の効果が十分に得られないことがあります。
  - ゴーストが大きい場合
  - ゴーストが多い場合

・ゴースト除去信号が正常に受信できない場合
・飛行機などに反射して発生した不安定なゴースト

音量を調節する

音量調節、スピーカーオン／オフは、メニュー画面を表示せずに、直接音量ボタン（＋／－ボタン）または消音ボタンで調節できます。

アイコン	名称	機能
 ／  （ヘッドホン装着時）	音量	本製品のスピーカーまたはヘッドホンの音量を調節します。 ＋ボタンを押すと音量が大きく、－ボタンを押すと音量が小さくなります。 スピーカーオフの設定時に音量を調節すると、スピーカーオフは解除され、スピーカーから音が出る状態になります。
 ／ 	スピーカーオン／オフ	本製品のスピーカーのオン／オフを選択します。 消音ボタンを押す度に、オンとオフをくり返します。 スピーカーオフのときに音量を調節すると、スピーカーオフは解除されます。

明るさを調節する

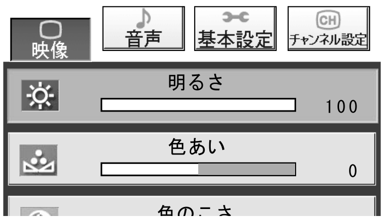
画面が明るすぎるまたは暗すぎる場合に、お好みの明るさに調節することができます。

1 **メニュー／マルチボタンを押してメニュー画面を表示します。**

2 **カーソルボタン（＜／＞）で「映像」を選択し、決定ボタンを押します。**

3 **カーソルボタン（∧／∨）で「明るさ」を選択します。**

4 **カーソルボタン（＜／＞）で明るさを調節し、決定ボタンを押します。**



画質を調節する

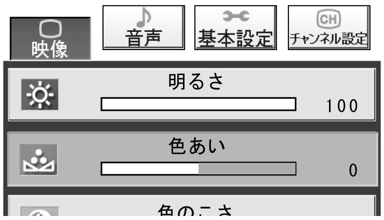
画質モードに「カスタムモード」を選択すると、色あい、色のこさ、ガンマ補正（明暗部分のバランス）、コントラスト、シャープネスを調節することができ、お好みの画質に設定することができます。

1 **メニュー／マルチボタンを押してメニュー画面を表示します。**

2 **カーソルボタン（＜／＞）で「映像」を選択し、決定ボタンを押します。**

3 **カーソルボタン（∧／∨）で「色あい」、「色のこさ」、「ガンマ補正」、「コントラスト」、「シャープネス」から調節したい項目を選択します。**

4 **カーソルボタン（＜／＞）で、お好みの値または設定を選択し、決定ボタンを押します。**



（「色合い」を調節する場合）

画面サイズを変更する

画面サイズを下記の 4 種類から選択します。

ノーマル　：映像を拡大せずに、縦横比 4:3 で表示します。

ワイド　　：映像を画面の左右いっぱいに拡大して表示します。このとき、映像の上下がわずかにカットされます。

ズーム　　：映像の縦横比を変えずに、画面の左右いっぱいに拡大して表示します（映像の上下がカットされます）。
カーソルボタン（∧／∨）で映像を上下にずらすことができます。

16:9　　　：映像を縦横比 16:9 に拡大して、画面の左右いっぱいに表示します。画面の上下には、黒い帯が表示されます。

1 **メニュー／マルチボタンを押してメニュー画面を表示します。**

2 **カーソルボタン（＜／＞）で「基本設定」を選択し、決定ボタンを押します。**

3 **カーソルボタン（∧／∨）で「ワイド設定」を選択します。**

4 カーソルボタン（＜／＞）でお好みの画面サイズを選択し、決定ボタンを押します。



POINT

- 画面サイズの切り換えは、リモコンの切換スイッチを「テレビ」にして画面サイズボタンを押すことでも行なうことができます。
  「画面サイズを変更する」（▶ P.24）
- コンポーネント入力に D3（1125i）または D4（750p）の信号を入力している場合、画面サイズは変更できません。

重 要

本製品を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置く場合、ワイド設定機能を使って画面が拡大、圧縮、または一部カットされた状態で使用すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。

ご購入時の設定に戻す

チャンネル設定以外の全ての項目をご購入時の設定に戻すことができます。

1 メニュー／マルチボタンを押してメニュー画面を表示します。

2 カーソルボタン（＜／＞）で「基本設定」を選択し、決定ボタンを押します。

3 カーソルボタン（ヘ／∨）で「リセット」を選択します。

4 カーソルボタン（＜／＞）で「はい」を選択し、決定ボタンを押します。



各入力時の調節可能な項目

名称	入力信号				備考
	テレビ	Ｓ ビデオ	ビデオ	コンポーネント	
明るさ	○	○	○	○	
色あい	○	○	○	○	画質モードに「カスタムモード」を選択時のみ
色のこさ	○	○	○	○	
ガンマ補正	○	○	○	○	
コントラスト	○	○	○	○	
シャープネス	○	○	○	○	
高音	○	○	○	○	
低音	○	○	○	○	
サラウンド	○	○	○	○	
ウーファー	○	○	○	○	ヘッドホン未接続時のみ
バスブースト	○	○	○	○	ヘッドホン接続時のみ
ワイド設定	○	○	○	○	
3DY/C 設定	○	×	○	×	
GRC 設定	○	×	×	×	
OSD 位置	○	○	○	○	
OSD 透過度	○	○	○	○	
リセット	○	○	○	○	
チャンネルサーチ	○	×	×	×	
手動設定	○	×	×	×	
音量調節	○	○	○	○	
スピーカーオン／オフ	○	○	○	○	

7 こんなときは

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、以下の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。
問題が解決できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にご連絡ください。

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」のご利用については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
テレビ電源ランプが消灯している	電源ケーブルが正しく接続されていない。	電源ケーブルを正しく奥まで確実に接続してください。	「電源を接続する」（••▶ P.14）
	電源が入っていない	電源を入れてください。	「各部の名称と機能」（••▶ P.5）
	パソコンモードになっている。	テレビ電源ボタンまたはモード切換ボタンを押して、テレビモードに切り換えてください。	「テレビを見る／外部機器の映像を見る」（••▶ P.22）
テレビ電源ランプは青色に点灯している	外部入力端子に映像信号ケーブルが正しく接続されていない。	本製品および映像機器に映像信号ケーブルを正しく接続してください。	「映像機器と接続する」（••▶ P.12）
	外部入力端子に未接続の入力を選択している。	入力切換ボタンを押して、ご希望の入力に切り換えてください。	「テレビを見る／外部機器の映像を見る」（••▶ P.22）
	外部入力端子に接続された映像機器の電源が入ってない。	映像機器の電源を入れてください。	－

画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶パネルの特性で、故障ではありません。	交換・返品はお受けいたしかねますので予めご了承ください。	－
画面が明るすぎる	明るさの設定値が大きすぎる。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「明るさを調節する」（••▶ P.31）
画面が暗すぎる	明るさの設定値が小さすぎる。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「明るさを調節する」（••▶ P.31）
画面が暗くなった	液晶パネル内部の蛍光管の寿命がきている。（注）	有償にて交換させていただきます。 詳しくは、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までご連絡ください。	『サポート＆サービスのご案内』
画面を切り換えても前の画像がうすく残っている	長時間同じ静止画を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶パネルの特性で、故障ではありません。	本製品の電源を切るか、変化する画像を表示していれば、像は1日程度で自然に消えます。	－
画面いっぱいに表示されない	ワイド設定が「ノーマル」になっている。	ワイド設定を変更してください。	「画面サイズを変更する」（••▶ P.24）
画面がちらつく	一部の階調、表示パターンによってちらつきが発生します。	画質モードまたはガンマ補正を変更して、ちらつきの少ない画質を選択してください。	「画質モードを選ぶ」（••▶ P.26）または「画質を調節する」（••▶ P.32）
テレビ放送が映らない	アンテナケーブルが接続されていない	アンテナケーブルを正しく接続してください。	「アンテナと接続する」（••▶ P.11）
	チャンネル設定がされていない	チャンネル設定を行ってください。	「チャンネルの設定」（••▶ P.16）
	テレビ入力が選択されていない	モード切換ボタンおよび入力切換ボタンを押して、テレビ入力に切り換えてください。	「見たいチャンネルを選択する」（••▶ P.22）
テレビ放送の映像が不鮮明	電波の受信状態が良くない。	チャンネル設定の微調整で、最適になるよう調整してください。	「チャンネル設定を変更する」（••▶ P.19）
	アンテナケーブルが正しく接続されていない	アンテナケーブルを正しく接続してください。	「アンテナと接続する」（••▶ P.11）

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
テレビ放送の映像が二重、三重に見える	山や建物からの反射波の影響を受けている。	メニューの基本設定より、GRC 設定を ON にしてください。	「調節項目の内容」（▶ P.28）
		アンテナの位置、方向、角度を調整してください。	－
・テレビ放送の映像に斑点や縞模様が見える ・テレビ放送の映像が揺れる	自動車やバイク、高圧線、ヘアドライヤーなどからの影響を受けている	設置場所を変えてみてください。	－

（注）：液晶は蛍光管を使用しており、寿命になると明るさが低下します。また、若干黄色くなることがあります。

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	本製品のスピーカーの設定がオフになっている	リモコンの消音ボタンを押して、スピーカーオン／オフを切り換えてください。	「各部の名称と機能」（▶ P.5）
	音量が最小になっている	メニュー画面が表示されていない状態で、音量ボタンで音量を調整してください。	「各部の名称と機能」（▶ P.5）
	本製品にヘッドホンが接続されている	本製品にヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音が出ません。ヘッドホンを抜いてください。	－
	外部入力の音声ケーブルが接続されていない	本製品および映像機器に音声ケーブルを正しく接続してください。	「映像機器と接続する」（▶ P.12）
スピーカーからプツプツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、PHS などの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、PHS を本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	－
入力切換時や電源投入時などに「プチッ」とノイズ音がする	切り換え直後はオーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	－

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
チャンネル切換時に一瞬雑音が聞こえる	受信できないチャンネルを選択したため。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	－

リモコンで操作できない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
リモコンで操作できない	リモコンの電池が切れている	リモコンの電池を交換してください。	『パソコンの準備』
	リモコンの電池の極性（＋－）が逆になっている	電池の極性（＋－）を正しい向きに入れてください。	『パソコンの準備』
	リモコンの切換スイッチがパソコン側になっている	テレビ機能をリモコンで操作する場合は、切換スイッチをテレビ側にしてください。	「各部の名称と機能」（••▶ P.5）
	本製品の電源ケーブルが正しく接続されていない。	電源ケーブルを正しく奥まで確実に接続してください。	「電源を接続する」（••▶ P.14）
	リモコン受光部に蛍光灯などの強い照射光が当たっている	本製品の向き、設置場所を変えてください。	－
	リモコンの信号がリモコン受光部に届いてない	リモコンを受光部に正しく向けて操作してください。	－
メニュー画面で変更できない項目がある	画質モードが「カスタムモード」になっていない	画質モードを「カスタムモード」に変更してください。	「画質モードを選ぶ」（••▶ P.26）

8 付録

日常のお手入れ

清掃する

お手入れの前に本製品の電源を切ったあと、本製品に接続されているすべてのケーブルを抜いてください。

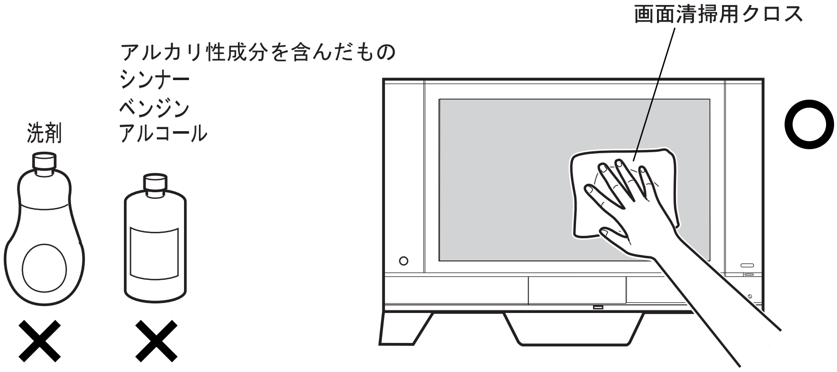
重 要

市販クリーナは以下の成分を含んだものがあり、画面の表面コーテイングやカバーを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。
- アルカリ性成分を含んだもの
- 界面活性剤を含んだもの
- アルコール成分を含んだもの
- シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
- 研磨材を含むもの
- 化学ぞうきん

など

■画面のお手入れ

パソコン本体に添付の画面清掃用クロスで拭いてください。それ以外の物で拭く場合はガーゼなどの柔らかい布をご使用ください。



■画面清掃用クロスの使い方

- 液晶表面の清掃用としてお使いください。
- ご使用になる際は、水や洗剤をつけずに 乾拭き（からぶき）してください。
- 汚れが拭き取れなくなったときは本品を中性洗剤にて洗濯してください。繰り返し使用できます。
- 拭き取るときに無理な力は加えないでください。液晶の故障の原因となる恐れがあります。
- 液晶表面についた砂やほこり等は傷の原因となりますのでよく払ってから拭いてください。

・洗濯機等で洗われる場合は素材によっては色移りする恐れがありますので、他の物と一緒に洗わないでください。
・煮沸消毒やアイロンがけはおやめください。
・廃棄する場合は廃プラスチックとしてお取り扱いください（素材：ポリエステル、ナイロン）。

■本体のお手入れ

パソコン本体の通風孔にほこりがたまらないように、定期的に清掃してください。
汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどいときは、水または中性洗剤を含ませた布を固く絞って、拭き取ってください。中性洗剤を使って拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って、中性洗剤を拭き取ってください。また拭き取るときは、製品内部に水が入らないよう十分注意してください。

仕様

本体仕様については『パソコンの準備』をご覧ください。

FMV-DESKPOWER Tシリーズ
インスタントテレビ機能　取扱説明書

B6FH-1841-01-00

発 行 日　2004 年 4 月
発行責任　富士通株式会社